

輸出事業計画

※申請者名：株式会社マル善、品目：牛肉・牛肉加工品

1. 輸出における現状と課題

今後、国内の人口減少に伴い、国内における牛肉消費の減少が予測される。一方で、国産牛肉の輸出先であるアジアを中心とした近隣諸国では、人口増加、所得向上等により、日本産の和牛(精肉)及び畜産加工品ニーズが高まっていくことが予測される。

これまで、当社では、自社ブランドでの和牛の輸出を自ら取り組んでこなかった現状にある。今後、当社が輸出を計画している香港においても、日本産の和牛及び畜産加工品のニーズは高まっており、香港の輸入業者及び飲食店からは、国際認証基準の安全規格の施設で加工された高品質で安心安全な商品を求められていることから、これらのニーズに対応した体制で、積極的に輸出を展開していく必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

ターゲット国である香港向けに、牛肉、牛肉加工品の輸出を本格的に自ら取り組んでいく。

(牛肉)

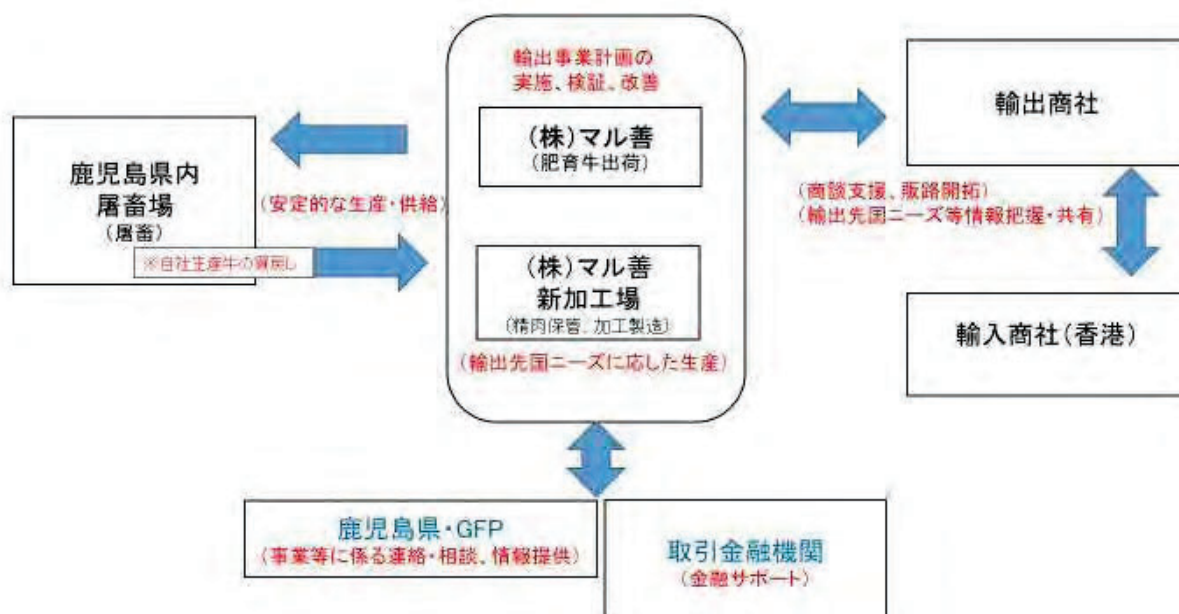
- ・当社の「石原牛」ブランドで、安心安全、高品質を売りにして、日本の輸出業者、現地輸入業者と連携して、輸出商談を積極的に取り組んでいく。メインターゲットは、香港の飲食店向けとし、商談を展開していく。

(牛肉加工品)

- ・今回新設するHACCP対応の加工場にて、牛肉加工品を製造する。香港向けの牛肉加工品は、加熱して製造し、急速凍結・真空パック等で冷凍加工して、冷凍品として輸出する。海外の消費者へ安定した供給を図るために、賞味期限は1年以上の商品(冷凍品)を目指す。メインターゲットは、香港の飲食店向けとし、商談を展開していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

以下の実施体制で、輸出事業計画の実証と見直しを行っていく。



4. 輸出目標額

輸出先国：香港

現状（令和3年4月期）：輸出実績なし

目標（令和10年4月期）：8,800万円（うち牛肉6,300万円、牛肉加工品2,500万円）